

2024 年度 一般社団法人岩手県社会福祉士会 第 5 回理事会 議事録

【日 時】2025 年 3 月 8 日(土) 13:00～15:30

【会 場】ふれあいランド岩手 研修室

Web 開催(ZOOM ミーティングでのオンライン参加)

【出席者】(敬称略)(○は、オンライン参加を示す。)

代表理事:坂口 繁治(全県)

理 事:北向 細子(盛岡)	佐藤 雅子(全県)	西尾 卓樹(全県○)
熊谷 雅順(全県)	白畑 勇(全県)	小笠原 隆(全県○)
斉藤 譲(全県)	松戸 智美(全県○)	阿部 明典(全県○)
栗津 優(全県○)	寺崎 拓也(全県○)	千田 修(全県○)
菊池 一希(全県)	高橋 正之(全県○)	高橋 洋子(全県○)
小野寺 幸司(二戸○)代	泉 伸(久慈○)	関澤 裕子(盛岡○)
菅野 充(中部○)	昆野 宏彦(胆江○)	小原 良子(両磐○)
高屋敷 大助(沿岸)	千田 富士夫(気仙)	

監 事:阿部 鮎美(○)

(計:26 名)

【欠席者】(敬称略)

理 事:佐々木 美幸(全県○)

監 事:菊池 寛

相談役 :佐々木裕彦、高橋勝

(計:4 名)

議 事

1. 開会

2. 挨拶(坂口会長)

大船渡市の山火事災害に関して日本社会福祉士会から 10 万円の見舞金あり。

本日の主要な協議事項は 2025 年度の事業計画となる。協力をお願いしたい。

《気仙ブロック千田理事》

大船渡市の山火事災害について、支援に感謝している。

3/5 の雨以降、現在は煙も火もない状態。昨日から一部避難解除。小学校も来週から授業再開。

少しずつ通常の生活に戻りつつある。社協災害 VC は現在、物資の仕分けと見守りを中心に稼働しているが、避難者が自宅に戻った後にニーズが明らかになるので、今後も協力をお願いしたい。

3. 理事会成立報告

理事 24 名の出席。定款第 33 条の理事過半数を上回り、本理事会の成立を確認した。

4. 議長選出

定款第 30 条に基づき坂口会長が議長を務めることについて、理事の承認を得た。

5. 報告事項

(1) 定款第21条3項による職務執行状況

ア 定款第21条3項による職務執行状況 事務局運営の進捗

- ・今年度の委託事業はほぼ完了。現在は前金請求等の事務処理を行っている。(熊谷)
- ・予定どおり社会保険労務士との契約を締結した。(西尾)
- ・東北北海道ブロック連絡協議会(仙台)2/7 (西尾)P5～参照

イ 各理事(委員会・ブロック)からの情報提供

- ・2024 年度実践研究発表会における社会福祉学会の推薦について(寺崎)P7～発表者の中から宮崎玲香氏を全国大会(島根大会)の発表者として推薦した。

・ばあとなあ岩手(白畑)P10～

2/15 第5回スキルアップ研修終了。

2月報告:登録者数136人、受任者数107人。受任数451件、未成年後見3件。

報酬助成9件申請のうち8件約80万円を承認(盛岡7件、中部1件)。

家庭裁判所からの推薦依頼は昨年同時期比では+7件(本日時点)。

受任者の増に伴い、家裁へ戻したケースは今のところ1件。

来年度は研修委員4名増員予定。

ウ その他

(2) その他

6. 協議事項

(1) 大船渡山林火災の対応について

《災害担当:西尾副会長》

・さんりくの園→利用者の分散避難:来週施設に戻る。

・災害派遣福祉チーム～3/16まで3クール派遣中。

・今後、情報共有を行いながら、仮設住宅への支援等も検討していく。

・3/4 県士会に対策本部設置。日本社会福祉士会からの見舞金をどう活用するか見当が必要。

《県社協:斉藤理事》

・DWAT 3/6～16 リアスホールと三陸公民館に相談コーナー設置

・2/28～大船渡市総合福祉センターに災害 VC 設置(物資の仕分中心、避難所のニーズ調査)

・民生委員・児童委員は旧三陸町中心に避難者の支援活動を展開。

・日本ケアマネ協会役員が現地入り。

《気仙ブロック千田理事》

・綾里地区の避難者は10日以上自宅に帰っていない方も。自宅がどうなっているか不明。

今後、自宅の状況によってニーズが明らかになる。被災地は物資より募金を希望している。

→今後の被災地支援に向けて、各ブロックでも募金活動を検討・展開していくこととした。

(2) 会員情報管理・メール配信システム

【WEBCAS e-mail 2024 クラウドサービス】の運用について(高橋)

・毎年実施していた会員現況届を基本的に WEBCAS へ変更。→予算のコストダウンにもつながる。

・「会員情報変更手続きマニュアル」は配布資料のとおり。

・先日のデモンストレーションを踏まえ、この後 ICT チームで話し合いを行う予定。

・パソコンの使用が難しい会員について各ブロックでフォローをお願いしたい(坂口)

→会員現況届を基本的に WEBCAS へ変更することとした。

(3) 権利擁護センターばあとなあ岩手「法人後見事業に関する規程(案)」について(白畑)

P10～ばあとなあの受任件数の増加、業務量の増加に伴い、事務担当者が必要。

→事務担当者の予算化について承認された。

(4) 規程第3号「会費の収納等に関する規程」の改正について(北向)

変更点:収納→納入、社団法人→一般社団法人 等

→規程の改正について承認された。

(5) 2025 年度定時総会の開催形態について(熊谷)

→ハイブリット開催とすることで承認された。

(6) SET ビル「302号」の契約について(西尾)

中野事務所隣室の借用に伴い、賃借用は現物件 6 万円＋追加物件 5 万円＝11 万円となる見込。
駐車場を 4 台分確保可能となり、研修等での活用も可能。→賃借料のコストダウンになる。
引当金 100 万円を取崩し、備品購入にあてたい。
→SET ビル「302 号」の契約について承認された。※4 月理事会はこの 302 号で開催。

(7) 第三期中期計画の見直しについて(熊谷)

→現計画が 2025 年度まで。2026 年度に向けて見直しを進めることとした。

(8) ニュースレターの年間発行及び編集について(熊谷)

→4 月発行分を 6 月発行とし、新体制の紹介を掲載することとした。

(9) 2025 年度活動計画表について

(10) その他

7. 議決(承認)事項

(1) 規程第16号 一般社団法人岩手県社会福祉士会文書管理規程の制定について(熊谷)

→異議なく承認された。

(2) 2025 年度事業計画・収支予算について(定款第41条)(別紙)(坂口)

【委員会】

○総務委員会(西尾)P1～

県士会の来年度の重点項目6点。「地域福祉の推進と貢献」を追加。

総務委員会は7つの重点目標に基づき運営。

○障がい福祉研修委員会(小笠原)P3～

運営要綱第5条(3)エ…数年前に事業が終了しており、削除したい。

P5「3障がい者相談支援従事者主任研修」県と調整中。

○地域共生社会委員会(斉藤)P7～

来年度も3つの小委員会により開催。

日本の「生活困窮者支援SW研修」「マクロソーシャルワーク研修」開催を検討。

○子ども家庭学校委員会(坂口)P9～

要対協研修実施を見合わせる予定。

体制変更(委員長:坂口→嵯峨)、いじめの第三者委員の派遣に際してガイドライン作成

○地域包括支援委員会(松戸)P12～

情報交換会11月開催。認証研修は2024年度参加者が少なかったため、Web&金土開催へ切替。

○障がい委員会(阿部)P13～

地域課題の分析等を継続する。障がいフォーラム(第2回)の開催検討。

県の強度行動障害支援者養成研修の受託を検討。

○実習指導者委員会(栗津)P15～

委員会の中で2つのワーキングチームを設ける。

来年度は実習指導者研修会の開催年。2日目のSV研修講師の選任も委員会で行う。

○実践研究委員会(寺崎)P16～

SW三団体合同研修会の開催準備を進める。

来年度の発表者…基礎研修3名、沿岸&気仙ブロック各1名、ぱあとなあ1名

○虐待対応専門職委員会(千田)P19～

岩手県障害者虐待防止研修会:来年度は集合研修(2日間)で実施予定。

県総合相談センター権利擁護相談は対応多数。

○ユース委員会(菊池)P23～

今年度実施したアンケートの回答数が少ないため、来年度再実施。模試の実施なし。

○生涯研修センター(熊谷)P24～

物価高騰につき受講料引き上げを検討。

基礎研修Ⅰにレポート論文研修を必修とする。

○権利擁護センターばあとなあ岩手(白畑)P29～

民法改正8月パブコメ予定→制度自体の変更が想定される。

盛岡では市民後見人との複数後見が進んできた。

法人後見の検討にあたり事務局負担が大きくなっている→体制の検討が必要。

※連携機関、名簿登録者数等訂正あり。運営委員会&スキルアップ12月7日→6日変更

【ブロック】

○二戸(小野寺)

研修のうち1回は久慈ブロックとの合同開催。新会員の加入促進も進めたい。

○久慈(泉)

総会4/26、二戸ブロックとの合同研修、高校文化祭への参加等を予定。

○盛岡(関澤)

第1回研修はばあとなあをテーマとする。事例研究会も引き続き開催。

○中部(菅野)

事例研究を予定。複合的なケースへの対応に関する内容も検討していく。

○胆江(昆野)

総会6月&研修会(講師:高橋相談役)。今年度に続き精神保健福祉士会との情報交換を行う。

○両磐(小原)

新入会員のフォローや入会のメリットを感じられる活動を目指したい。

○沿岸(高屋敷)

社会福祉士の合格率上昇に伴うブロック内でのフォローを検討。

○気仙(千田)

人手不足等の課題あり、顔の見える関係で話し合いを継続していきたい。

【予算】(坂口)

《収入》

会費収入は、今年度の国家試験の合格率の高さから830人で計上。

ユース模試収入削除、レポート研修削除(基礎研修Ⅰで見込む)、

ばあとなあ会員数により計上、ケアマネ試験監督は今年度から実施なし。

成年後見人材育成研修受講料(隔年)計上、強度行動障害研修は仮試算、寄付金仮計上、

雑収入(事務局員の待遇変更に伴うキャリアパス制度からの助成80万円見込)、

積立試算取崩収入は事務局環境整備費用。

《支出》

事務局員給与等の増額(会費財源含む)、成年後見人材育成研修の謝金等(隔年)計上、

中野事務所隣室を新たに契約するため、賃借料を2室分見込んだ。

雑費132万円支出(内訳:テーブル&椅子等の備品購入費、社労士契約費用等)

★委員会支出:各委員会の計上が今年度比41万円の増額。下記のとおり再検討をお願いしたい。

・委員旅費等について全員分で計上している委員会あり→現実的な金額で計上する。

・委員会・研修会等のオンライン切替が可能かどうか。

・使用料無料の会場使用(ランド等)により賃借料負担を軽減できないか。

※基礎研修は参加費収入を基本としているが、参加者の増減により変更の可能性あり。

レポート研修3万円計上可能。

→計画・予算(委員会支出以外)について承認された。

委員会支出の修正に伴う予算の変更については、後日電子的方法で承認を得ることとした。

(3) 委員会活動費の追加交付について(P34～)(熊谷)

地域共生社会委員会、子ども家庭、地域包括支援委員会、障がい委員会、
→追加交付について承認された。

(4)その他(熊谷)

入退会者:入会1名退会3名、退会手続中12名
→入退会について承認された。

8. その他(坂口)

- ・役員改選期となるため、期日までに立候補届を提出すること。
- ・次期が理事4期目となる委員は、その後の引継ぎができるように準備を進めること。

9. 閉会

<今後の職務執行予定>

- ・3月10日(月)2025/2026 役員改選立候補受付
- ・3月15日(土)日本社会福祉士会臨時総会
- ・3月28日(金)2024 年度事業報告 締切(第1回理事会 4/19)
- ・4月1日(火)2024 年度決算報告締切(4/9 税理士指導 4/11 監事監査)
- ・4月7日(月)2025/2026 役員改立候補締切
- ・4月9日(水) 税理士指導
- ・4月11日(金) 監事監査
- ・4月19日(土) 第1回理事会・ばあとなあ業務監査
- ・4月21日(月) 2025 定時総会案内文書発送・~~5月ニューズレター~~校子(削除)
- ・6月8日(日) 2025 年度定時総会

2025 年 3 月 8 日

一般社団法人岩手県社会福祉士会 2025 年度第 5 回理事会議事録は、当日の議事内容に相違ないことを認め、記名押印する。

議 長 坂口 繁治 印 監 事 阿部 鮎美 印